

100 日後のレポート

私は自宅で 100 日間過ごしたと、特別なオンラインコンサートをドイツ南西部のプフォルツハイムで行うために、私のオーケストラである南西ドイツ室内管弦楽団に戻ってまいりました。 - <https://www.swdko-pforzheim.de/> - <https://www.youtube.com/c/s%C3%BCdwestdeutscheskammerorchesterpforzheim>.

自粛期間後、オーケストラが一同に会したのははじめてであり、私も 3 月中旬以降指揮をしたのは初めてでした。リハーサルとコンサート会場は、コングレスセンター・プフォルツハイムで、オーケストラが普段コンサートをしているホールです。しかし以前と大きな違いがありました。オーケストラは、演奏者間に 1.5 メートルの間隔をあけなければなりません。これは保健当局の規制によるものです。また、すべての観客席がホールから取り除かれました。

その結果、残響がとても長くなりました(写真を参照)。我々は新しい状況に慣れるのに時間がかかり、最初はお互い音を聴き合うのが簡単ではありませんでした。最初は弦楽器だけでリハーサルし、次に全員で合奏という段取りにしました。その甲斐があつて 6 月 28 日のコンサートの日までに誰もが状況に慣れ、リラックスして演奏することができました(実際には、新しい挑戦を楽しんでいました)。オーケストラは素晴らしい演奏をしました。

曲目はベートーヴェンの「プロメテウス」序曲、モーツァルトのピアノ協奏曲第 20 番(オリバー・シュナイダーのピアノ独奏)、メンデルスゾーンの交響曲第 4 番「イタリア」でした。コンサートは無観客で行われましたが、演奏家たちは世界中の多くの人々にオンラインで聴かれ、見られていることを知っていました。それは過酷な状況に置



かれていたことに対する勝利であり、オーケストラの未来への指標となりました。

その翌週、ドイツの主要なレーベルで CD を録音しました。オーケストラのマネージャーであるアンドレアス・ハーマンが、キャンセルになったコンサートの代わりに録音を手配した成果でした。イギリスの作曲家クリストファー・ウィルソンとグランビル・バントックによる「弦楽オーケストラのための3つの作品」を収録しました。演奏者たちはすでにオンラインコンサートの新しい音響と間隔に慣れていたので、すぐに仕事に取りかかることができましたが、音響技術者にとっては新しい挑戦でした。彼らは素晴らしい仕事をし、繊細なバランスと豊かな音をもつ CD を作ることができました。

この10日間は、皆が集中してとても満足のいく仕事ことができました。私は生まれ変わった気がしました。演奏者と一緒に再び音楽を作るといことは何よりも喜びだったと言わねばなりません。私たちは皆、お互いの時間をどれだけ逸していたか思い知ったように思います。皆、新鮮さと自主性を見出しました。

悲しいことに、欠けていたのは聴衆でした。今後、聴衆をホールに呼び戻すということについて懸命に取り組まなければならなりません。ただ、問題は聴衆ではなく行政による厳しい規制です。一部の国では他国に先駆けて、ほぼ今まで通りに聴衆を収容しています。コンサートホールは、特定の基本的なルールと常識があればリスクなく集まることができます。オーケストラが音楽を演奏するためには、経済的にも聴衆に来てもらわなければなりません。そして私たちが音楽を演奏することで彼らの生活を豊かにすることができます。

私は先週再び家にいました。そして私は7月13日に次のCDをレコーディングするために私のオーケストラのもとに戻ります。今回は、コントラバス協奏曲と初期の古典作曲家、スペルガーによる交響曲を初めて録音します。私たちは、最近演奏したステージよりもはるかに小さいスタジオでリハーサルをします。今回、演奏者どうしの間隔を元に戻すことを当局によって承認されました。しかし、リハーサルにおける休憩時間は異なります。最大60分間の演奏（リハーサル）をしたあと、15分間換気する必要があります。

録音は、大ホールよりも乾いた響きをもつ中型ホールのコンGRESSセンターに戻りおこなうので、録音がしやすくなります。

1週間後、ひとつのシーズンを終えるために、南西ドイツ室内管弦楽団と私はプフォルツハイムから比較的近い素敵な城の敷地内で2つの野外コンサートを開催します(写真を参照)。当初の日付は6月でしたが、政府の規制のために延期されました。今回は、長い時間のコンサートの代わりに、休憩を含まない1時間のコンサートを2回(午後5時30分と午後8時開演)行います。このコンサートは城の中庭で少人数の聴衆を迎えて行います。これにより、すべての聴衆は安全でソーシャル・ディスタンスを保って、美しい夏のイベントを楽しむことができます。



曲目はモーツァルトのコントレダンス K. 267、ハイドンの交響曲第73番「狩」、そしてシューベルトの第5交響曲です。

<https://www.swdco-pforzheim.de/termine/open-air-schloss-bauschlott-i-nachmittagskonzert/>

今月も仕事ができる喜びを感じ、将来に望みが持てるようになってとても感謝しています。すべての音楽家、技術スタッフ、事務局職員、スポンサー、そしてオンラインとライブで演奏を楽しんでくださる皆様に感謝します。

ダグラス・ボストック
2020年7月12日
ライヒェナウにて